

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東浦町学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	令和5年11月6日（月） 午後1時00分から午後2時03分まで	
開 催 場 所	東浦町学校給食センター 2階会議室	
出 席 者	委員等	杉本匡彌氏(委員長)、鬼頭学氏(副委員長)、田口志穂子氏、原田祐介氏、鈴木里華氏、田中佳奈氏、山崎千聡氏、菅沼まり絵氏、宮田昭久氏、榊田あさ子氏、南茂憲氏、市野司氏、梶山博史氏、井上千佳氏  ※出席委員 14名、欠席3名
	事務局	庄子教育長、横井部長、畔上学校教育課課長兼学校給食センター所長、大塚学校教育課課長補佐兼学校給食係長、中山栄養教諭、久野栄養教諭
議 題 等 (公開又は非公開の別)	1 給食費の改定について(公開) 2 その他(公開)	
非公開の理由 (会議を非公開とした理由)	/	
傍聴者の数	1名	
審議内容	<p>◆事務局 傍聴1名の申し出があったことを報告。 委員長のあいさつ。 教育長のあいさつ。 配布資料の確認。</p> <p>◆議事 ◇委員長 委員の出席及び会議の成立を確認。 次第に従い議事を進める。議題1「給食費の改定について」を議題とし、事務局から説明を求める。</p>	

◆事務局

資料に基づき説明。

給食費は、令和2年4月から小学校250円、中学校290円となっている。給食費の改定（値上げ）については、令和6年4月1日から小学校280円、中学校330円、千種豊学校ひがしうら校舎幼稚部250円としたい。

また、令和5年6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023」の少子化対策のひとつとして、学校給食無償化の課題整理を行うとされており、ここ数年の間に国から何らかの支援策が考えられる中で、保護者負担を増額することは適切ではないと考えている。したがって、令和6年度については、保護者負担の増額分は公費負担するよう予算要望する予定をしている。

※質疑・意見等は次のとおり。

◇委員：牛乳が令和2年度に比べてだいぶ値上がりしているようだが、現在の購入先以外のところから買うことはできないのか？

◆事務局：県の協議会で決まっている購入先（中央製乳）であり、安定供給されている。また、地産地消（愛知県豊橋産）にこだわりたいため、今の購入先を変更する予定はない。

◇委員：給食費については、十円単位にしているが不足しているのであれば端数があってもいいように思うが、どう考えているか？

◆事務局：集金時の諸事情などを考慮し、十円単位にしている。

◇委員：改定時期は令和6年4月1日でなくても、食材費が高騰しているのであれば年度途中でもよいのではないかと？

◆事務局：令和5年度については、当初予算において食材費を町の公費で負担することを予定していた。後に国からの交付金が充当できることが決定した。国の支援を受けられるものについては、それを活用していきたい。また、各種予算は年度で決められているため、年度単位での改定が望ましいと考えている。

◇委員：改定価格には人件費などが含まれているか？

◆事務局：給食費は食材の購入費のみである。それ以外の支出は町が負担している。

◇委員：今回の改定額で今後足りるのか？

◆事務局：さらなる物価上昇が続けば、毎年改定せざるを得ない状況も考えなければならない。また、この先の値上げ分をいつまで公費負担できるかについても、都度検討が必要であると考えている。

◇委員：値上げの基準というものはあるのか？

◆事務局：いくらになったら実施するといった基準はもっていない。

◇委員：令和6年度については、保護者負担の値上げ分を公費負担することだが、財源の確保はできるのか？ 物価上昇を実感している今なら負担増を受け入れられるが、財源が不足したから全額費用負担と言われても、その時に受け入れられるかを心配している。

◆事務局：国の動向や物価上昇の状況を注視しながら、財源確保に努めていきたいと考えている。

◇委員：給食費を値上げしても保護者負担額を変えないのであれば、改定の必要はないのではないかと？

◆事務局：物価が上昇しているこの時期に、適切な価格へ改定をしていかないといけないと考えている。保護者負担の増額はないが、児童生徒以外の教員等は、改定後の給食費を徴収することになる。

◇委員：サンプル献立は資料の1例のみなのか？

◆事務局：実際には複数サンプル献立を比較している。他の1例としては、子どもたちに人気のビビンバだと、野菜を多く使用するため1食に係る給食費は資料のサンプル献立より高いものの、エネルギーは基準に達しないなど、1食あたりの金額は現在の給食費より高いが、エネルギーは基準をみたさないものが多くみられた。日によって、1食あたりの金額・エネルギーともに変動があるため、標準的なものを資料とした。

◇委員：近隣市町の状況についてはどうなっているのか？

◆事務局：令和6年4月からの給食費改定については、常滑市・知多市・美浜町が実施すると伺っている。物価上昇の影響を受け、改定をしたい気持ちはあるが、各市町の諸事情により改定に踏み切れないといったところもある。

◇委員：ある本で、「自治体の予算うち、給食費の割合が1%以内であれば無償化に踏み切れる」というのを目にしたことがあるが、東浦町はどのくらいの割合なのか？

◆事務局：令和5年度の予算ベースおおよその額で、全体が171億6千万円で、うち学校給食センター全体に係る費用は4億7千万で割合としては2.7%、給食費のみの費用は2億6千万で割合としては1.5%となっている。

#### ◎まとめ

今回の給食費改定について運営委員会として

- ・学校給食費は、値上げをすることが適当である。
- ・金額（日額）は、小学校が280円、中学校が330円、千種聾学校ひがしうら校舎幼稚部が250円とすることが適当である。
- ・改定の時期は、令和6年4月1日からとすることが適当である。

以上を賛成12、保留1で承認する。

◇委員長

議題2「その他」については、特になし。

■閉会を宣言